

グループ討議 課題

テーマ:

リポジトリ構築において教員を味方につける

グループ名 [ 4E ]

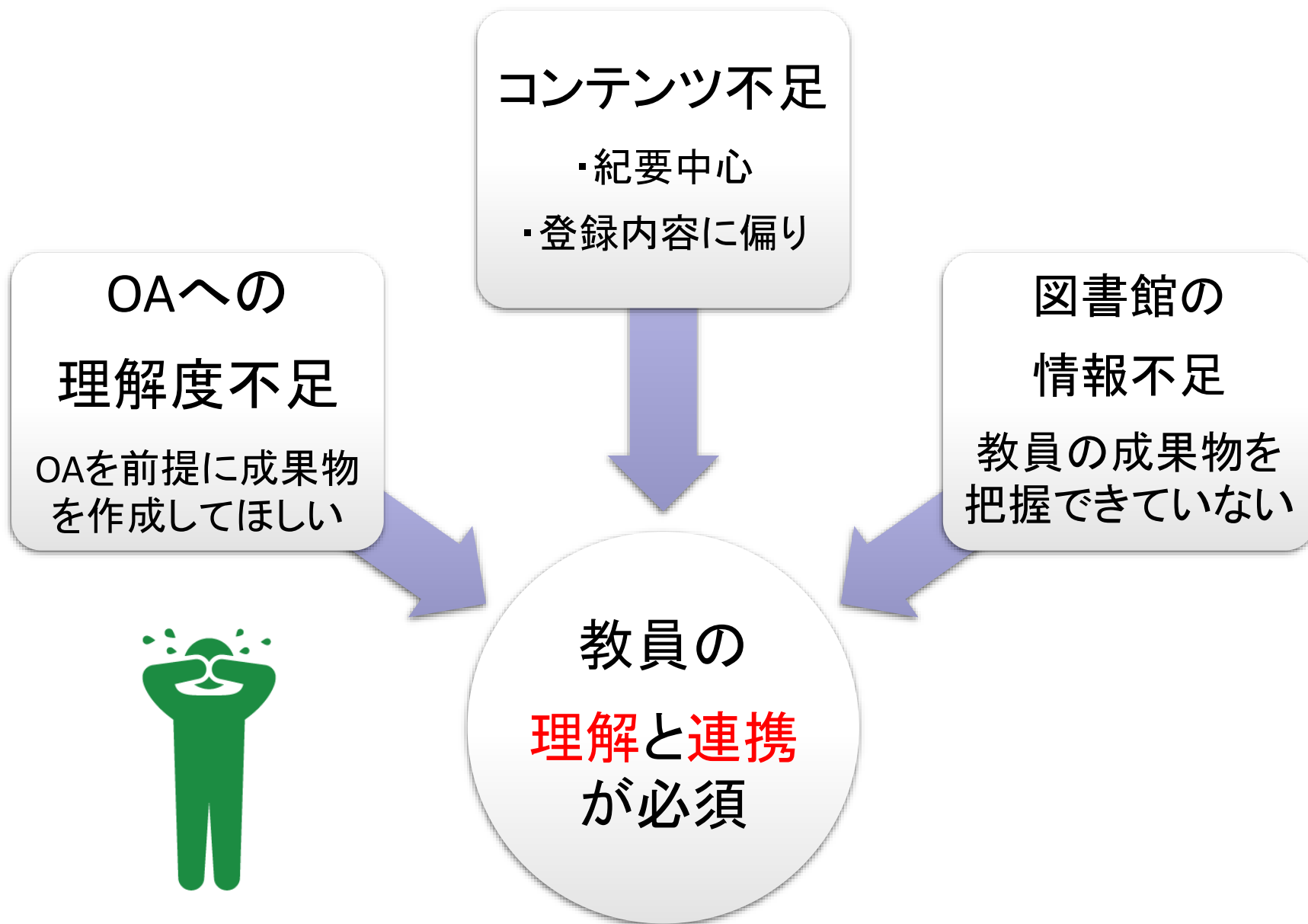
---

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修



JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会

# 現状と課題



# 具体的解決策①

## ◎学生を巻き込んだPR活動の実施

リポジトリの説明会を別途開催し、教員のみならず学生・院生も参加可能に。  
→学内のリポジトリの認知度を底上げする。教員も自ずと興味を持つように。  
理系・文系別など学生の特色に合わせて内容を変える。

## ◎リポジトリワークショップの実施

登録までの流れを実演、登録した内容が学術プラットフォームにどのように検索されるか見せてみる。  
→教員の負担が少ないこと、登録したメリットが大きいことを体感してもらう。  
→学生に利用を促す場合、実際に触れることで覚えてもらいやすい。

# 具体的解決策②

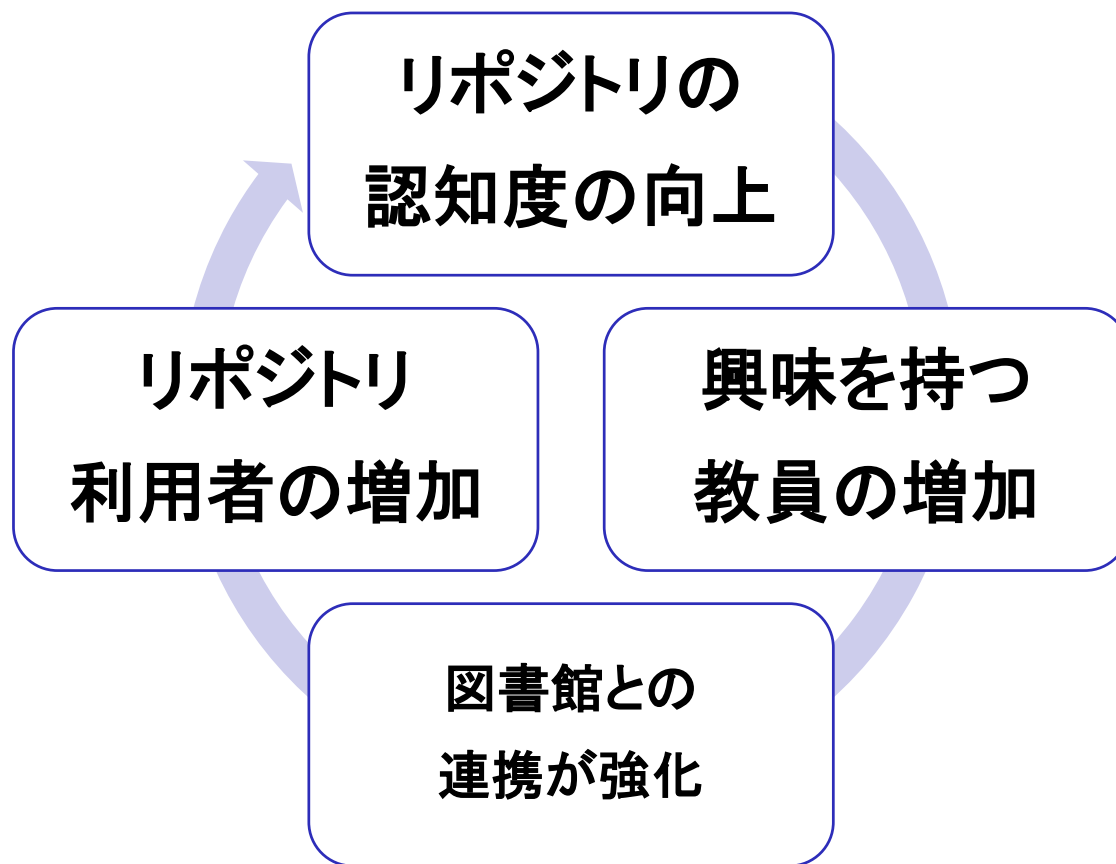
## ◎出張講座の実施

教員の要望に合わせたプログラムを提供し、個別に疑問を解消する。  
他大学の例や数値化したグラフを用いたプレゼンを行う。  
→教員によって異なるリポジトリの理解度を説明しやすくなる。  
→よりきめ細やかに理解と利点の説明が可能に。

## ◎リポジトリ登録キャンペーンの実施

期間を定め、集中的に登録を推進する機会を設ける。  
図書館長などの協力を仰ぎ、紹介者への登録料を進呈する。  
→登録に積極的な教員から消極的な教員へ波及させる。

# 期待される効果



教員の理解と協力が得やすくなることで  
リポジトリのコンテンツと利便性が向上する！